

問題 1 資料 No.1 を見て、次の設問に答えなさい。

<診断対象設備図>で示す送風機設備では、設備管理強化の観点から振動法による設備診断を導入した。そして、39ヵ月目に振動値が管理注意値に達したため、精密診断により送風機のアンバランスを確認した。

設問1

とるべき処置として、もっとも適切でないものを<とるべき処置>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

設備の劣化傾向を、<傾向管理グラフ>に示す点線であると仮定した場合、39ヵ月目以降のもっとも長い測定診断実施時期として、適切なものを<測定診断実施時期>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問3

今回のような異常発生時に評価すべき測定データとして、もっとも適切なものを<測定データ>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問4

感度よく振動測定するための、振動ピックアップの測定方向と取付方法に関して、もっとも適切でないものを<測定方向と取付方法>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問5

測定データの判定に際し、有効な判定基準として、もっとも適切なものを<判定基準>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題2 資料 No.2 を見て、次の設問に答えなさい。

設問1

作動油の＜SOAP法の分析で検出された元素＞①～⑩の主な混入経路として、もっとも適切なものを＜各元素の混入経路＞の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。ただし、記号を重複して使用してよいものとする。

設問2

＜ASTMカラー＞、＜作動油の分析結果＞は、それぞれ別の設備で使用している同種の作動油A、Bについて、新油時点での性状と、現在の性状を比較したものである。次の各問に答えなさい。

問1

＜ASTMカラー＞、＜作動油の分析結果＞に基づいた作動油の異常判定とその対応として、もっとも適切なものを＜作動油の異常判定・対応＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問2

作動油A、Bの劣化要因として、もっとも適切なものを＜作動油の劣化要因＞の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題 3 資料 No.3 を見て、次の設問に答えなさい。

<摩耗粒子写真>は、潤滑油中に含まれていた摩耗粒子である。A～Cのそれぞれの赤い囲み線で示す摩耗粒子の名称、特徴、対策方法として、もっとも適切なものを<名称>、<特徴>、<対策方法>の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題4 資料 No.4 を見て、次の設問に答えなさい。

<設備図>で示す同一型式の遠心送風機(A・B号機)が2台ある。各号機の増速機の送風機側の深溝玉軸受部を振動法で簡易診断を実施した。その結果、A号機では振動速度モード、B号機では振動加速度モードで、それぞれ異常と判定されたため精密診断を実施した。

設備仕様はA号機、B号機ともに共通で下記の通りである。

【設備仕様】三相誘導電動機

- ・電源周波数:60Hz
- ・電動機の極数:2
- ・すべり:3%

増速機

- ・段数:1段
- ・入力軸歯車歯数:64枚
- ・出力軸歯車歯数:40枚
- ・軸受ピッチ円直径:70mm
- ・転動体直径:13mm
- ・転動体数:10個
- ・接触角:0°

設問1

送風機の軸の回転周波数として、もっとも近い数値を<回転周波数[Hz]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

A号機の振動速度波形およびB号機の2kHz以上の振動加速度波形をそれぞれ<A号機の振動速度波形>、<B号機の振動加速度波形>に示す。A号機、B号機の振動波形から考えられる異常原因として、もっとも適切なものを<異常原因>の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題 5 資料 No.5 を見て、次の設問に答えなさい。

<減速機図>は減速機の模式図である。この減速機に対して振動測定による傾向管理を行っていたところ、ギヤになじみが出たあとの正常時に比べ振幅値の増大があったため、振動波形解析を行って異常原因を調査することになった。設備仕様は下記の通りである。

【減速機の設備仕様】

- ・段数: 2段
- ・入力軸回転数 : $1,760\text{min}^{-1}$
- ・入力軸歯車数 : 17枚
- ・中間軸歯車数 : 入力側41枚 出力側23枚
- ・出力軸歯車数 : 63枚

設問1

<一覧表> A~Eに当てはまる周波数として、もっとも近い数値を<周波数[Hz]>の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

<振動速度波形>、<振動加速度波形>は、振動速度値と加速度値(1kHzハイパスフィルタで信号処理したもの)について、正常時と異常時の変化を時間軸に表示したものである。減速機の異常原因として、もっとも適切なものを<異常原因>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問3

振動加速度振幅値が1番大きく検出されると考えられるポイントとして、もっとも適切なものを<測定点>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題6 資料 No.6 を見て、次の設問に答えなさい。

<振動加速度波形>は、2つの正弦振動が重なり合った振動加速度波形を示している。

設問1

この波形のp-p値として、もっとも近い数値を<p-p値[m/s²]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

この波形の低い周波数成分 f_L として、もっとも近い数値を<周波数 f_L [Hz]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問3

この波形の高い周波数成分 f_H として、もっとも近い数値を<周波数 f_H [Hz]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問4

振動加速度波形の片振幅とその周波数を表すスペクトルとして、もっとも適切なものを<振動スペクトル>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問5

振動加速度波形の実効値として、もっとも近い数値を<振動加速度波形の実効値[m/s²]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題 7 資料 No.7 を見て、次の設問に答えなさい。

回転機器の精密診断の結果、異常原因がアンバランスであることが判明した。そこで、1面修正でフィールドバランシングのための測定を行ったところ、<ポーラ線図>、<ロータ面>のような結果が得られた。

(注意事項:解答にあたり、ポーラ線図にメモが必要な場合は、次ページの【ポーラ線図-メモ用】を用いること)

設問1

アンバランスを修正するための適切なおもりの重さ m_c [g]を求める式として、もっとも適切なものを<計算式>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

式中の記号を以下に示す。

F : ポーラ線図上の初期ベクトルの大きさ

R : ポーラ線図上の効果ベクトルの大きさ

m_R : 試しおもりの重さ [g]

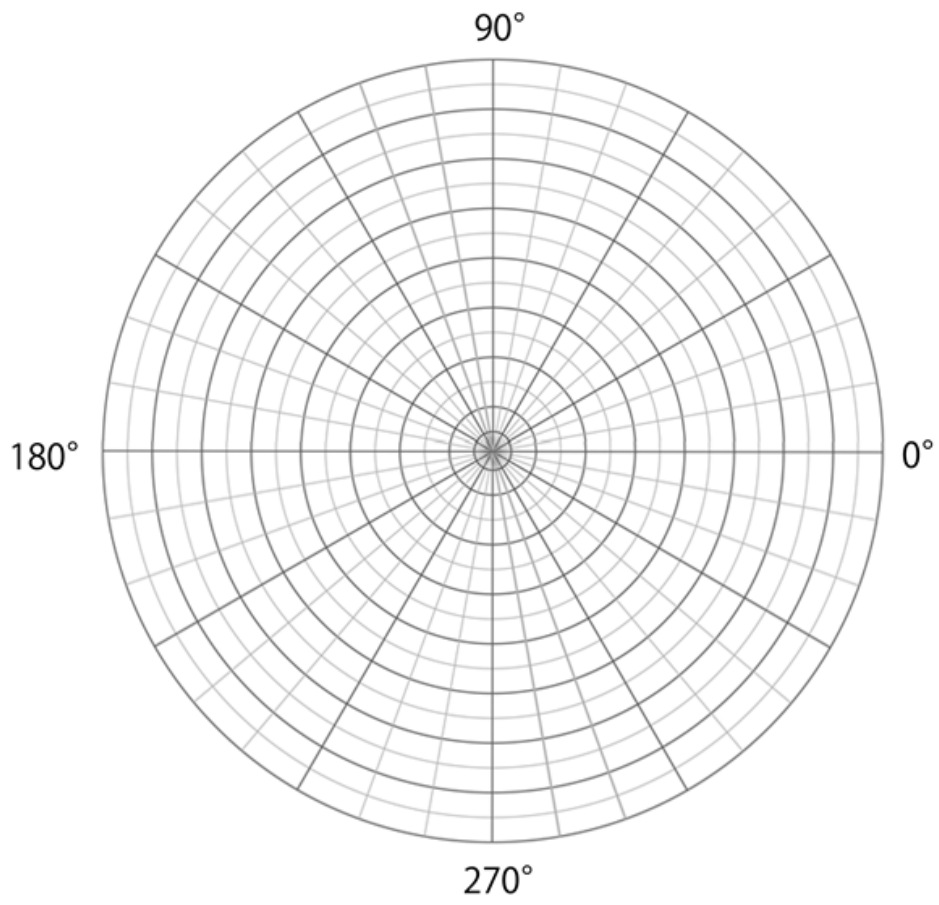
設問2

アンバランスを修正するためのおもりの重さとして、もっとも近い数値を<おもりの重さ [g]>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。ただし、修正おもりを取り付ける際に、試しおもりは取り外すものとする。

設問3

アンバランスを修正するためのおもりの取付角度として、もっとも近い数値を<取付角度>の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。ただし、修正おもりを取り付ける際に、試しおもりは取り外すものとする。なお、ポーラ線図上の位相は遅れを表す。

【ポーラ線図-メモ用】



問題 8 資料 No.8 を見て、次の設問に答えなさい。

設問1

＜絶縁抵抗測定図＞は、絶縁抵抗計で三相誘導電動機の絶縁抵抗値を測定する際の模式図である。電動機の電源系統とアース間の絶縁抵抗値を測定する場合の接続方法の組合せとして、もっとも適切なものを＜接続方法＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

＜電気回路図1＞の抵抗 R_a 、 R_b として、もっとも近い数値を＜抵抗値[Ω]＞の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問3

＜電気回路図2＞で、スイッチ S をOFFからONにしても検流器 G の電流 I_c が0Aの状態であった。次の各問に答えなさい。

問1

抵抗 R_y として、もっとも近い数値を＜抵抗値[Ω]＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問2

回路に流れる電流 I として、もっとも近い数値を＜電流値[A]＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題 9 資料 No.9 を見て、次の設問に答えなさい。

設問1

＜探傷図＞は超音波探傷試験で、回転軸(全長400mm)の割れ検査を軸端より実施している様子を表している。次の各問に答えなさい。

問1

＜探傷図＞で示す回転軸に割れない場合、測定範囲400mmに調整して超音波探傷試験を実施した結果の表示として、もっとも適切なものを＜超音波探傷波形1＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問2

＜探傷図＞で示す回転軸に割れがある場合、測定範囲200mmに調整して超音波探傷試験を実施した結果を＜超音波探傷波形2＞に示す。考えられる割れの位置として、もっとも適切なものを＜探傷図＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。

設問2

放射線透過試験における次の各問に答えなさい。

問1

＜露出線図＞は赤枠内に記載された条件で行った放射線透過試験で撮影、現像された場合の露出線図である。

管電圧160kVpで厚さ18.0mmの鋼板の透過写真を撮影する場合、適切な露出時間としてもっとも近い数値を＜露出時間[分]＞の中から1つ選び、解答欄にマークしなさい。ただし、管電流は10mAとする。

問2

＜階調計の適用区分＞は、JIS Z 3104:1995における母材の厚さ50mm以下の鋼溶接継手に対しての区分である。AおよびBに当てはまる数字として、もっとも適切な数値を＜数値群[mm]＞の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。

問題 10 資料 No.10 を見て、次の設問に答えなさい。

＜軸受損傷写真＞A～Cのそれぞれの赤い囲み線で示す損傷の名称、原因、対応処置として、もっとも適切なものを＜名称＞、＜原因＞、＜対応処置＞の中からそれぞれ1つ選び、解答欄にマークしなさい。